

# 議会だより 入善

GIKAI

DAYORI

NYUZEN



入善町消防団の心意気“裸放水”



## 12月定例会

平成11年度一般会計補正予算	2
一般質問～町政を問う（13議員）	4
常任委員会レポート	18
平成10年度決算審査	20
町発注工事入札結果表（9～12月分）	22
研修視察記（高知県・滋賀県）	23
各種団体・傍聴席からひとこと	24

町民のみなさんへ

議会を傍聴して  
見ませんか  
つぎの定例会は  
3月です

# No.112

2000年1月27日  
(平成12年)

発行／入善町議会

編集  
入善町議会広報編集特別委員会  
富山県下新川郡入善町入居3255  
☎0765(72)1100 ㊟0765(72)4711



# 平成11年度一般会計補正予算

深層水を活用した滑川市のタラソピア

12月定例会は、12月7日から22日までの16日間の日程で開催された。一般会計の歳入歳出を、それぞれ5億7666万6000円を追加し、総額116億3960万5000円とした。

入善町国民健康保険特別会計は2050万3000円を追加し、総額17億240万4000円とした。

入善町下水道特別会計は2億1120万円、入善町農業集落排水特別会計は1億3217万5000円をそれぞれ追加した。

歳出の概要は次のとおりである。

## 海洋深層水活用事業スタート

### 海洋深層水活用事業実施工事費を

予算化

水産漁業部門の活性化を図り、地場産業の振興と魅力ある町づくり促進のため、低温安定性、富栄養性、清浄性等の特性ある深層水の活用を図るための漁港高度利用活性化対策事業の取水施設整備に係る平成11年度工事費及び基本・実施計

画作成委託料等に3億5273万円。

沿岸漁業活性化構造改善事業の蓄養施設整備に5222万円の補正をするもの。

(4億495万3千円)

### 小口融資預託金を追加補正

現在の長期化する景気の低迷を反映し、中小企業者等からの借入金や借入件数の増加により、町が預託金を増額して、貸出しに対する保証の拡大を図るため補正するもので、現在の預託金総額は1億6000万円となった。

(3000万円)

障害者扶助費を  
増額

障害者にやさしい行政の  
施策対応から、身体障害者  
補装具や日常生活用具の利  
用請求者の増加により、給  
付扶助費の増額補正をする  
もの。

(496万4千円)

さわやか漁村海岸の  
整備促進

漁村海岸の安全確保と環  
境対策から、海岸整備が進  
められており、今回、国の  
景気浮揚対策の2次補正に  
より、4号潜堤のプロック  
製作工事を追加補正し、  
整備促進を図るもの。

(1億2000万円)

“老人福祉関連事業に追加補正”

急速な高齢化社会を向えた今日、老人福祉に関する事業  
の利用者や事業該当者の増加により、各事業毎にそれぞれ  
補正するもの。

※ホームヘルプサービス事業……………(295万5千円)

※在宅介護支援事業……………(1395万8千円)

・ショートステイ事業……………(25万8千円)

・在宅介護支援センター運営事業……………(25万8千円)

※要援護対策事業……………(132万円)

・在宅寝たきり高齢者等福祉金……………(75万円)

・要援護介護者扶助……………(25万8千円)

・寝たきり高齢者等紙おむつ支給事業……………(93万円)

・日常生活用具給付事業……………(1200万円)

※デイサービスセンター建設事業……………(5万5千円)

※介護保険事業……………(5万5千円)

海洋深層水対策特別委員会

- |       |       |    |       |
|-------|-------|----|-------|
| 委員 長  | 広瀬喜代志 | 委員 | 谷 昌典  |
| 副委員 長 | 山下 勇  | 委員 | 元島 正隆 |
| 委員    | 松澤 孝浩 | 委員 | 五十里隆章 |
| 委員    | 松田 俊弘 |    |       |



海洋深層水事業を検討する特別委員会



漁業の振興をねがって…大漁祈願祭

# 一般質問

第22回定例会

## 町政を問う

13人の議員が登壇

12月議会の代表・一般質問は、14日・15日の2日間おこなわれ、13人の議員が質問をした。

深層水事業の取り組み、株式会社「みった」の問題等、町民の関心は高く、多くの傍聴者と報道陣もいて、質問に立った議員にも力が入った。

主な内容は次のとおりである。

(注) 一般質問は、本人が原稿を書き、原則としてそのまま掲載した。

- 平成12年度予算編成にあたっての展望と財政運営について
- 21世紀に向けての入善町農政の基本的考え方について
- 高齢者のキャリア活用対策と子育て支援策について
- 国民健康保険税の引き下げについて
- 無形文化財の保存について
- 離岸堤の設置について
- 株式会社「みった」のプラント4について
- 地方自治体の広域合併構想について
- 深層水事業について
- 防災対策について
- 下水道事業における諸問題について
- 「男女共同参画社会」について
- 障害者福祉計画について

# 新年度予算の展望と

## 重点施策・具体的取り組みを問う

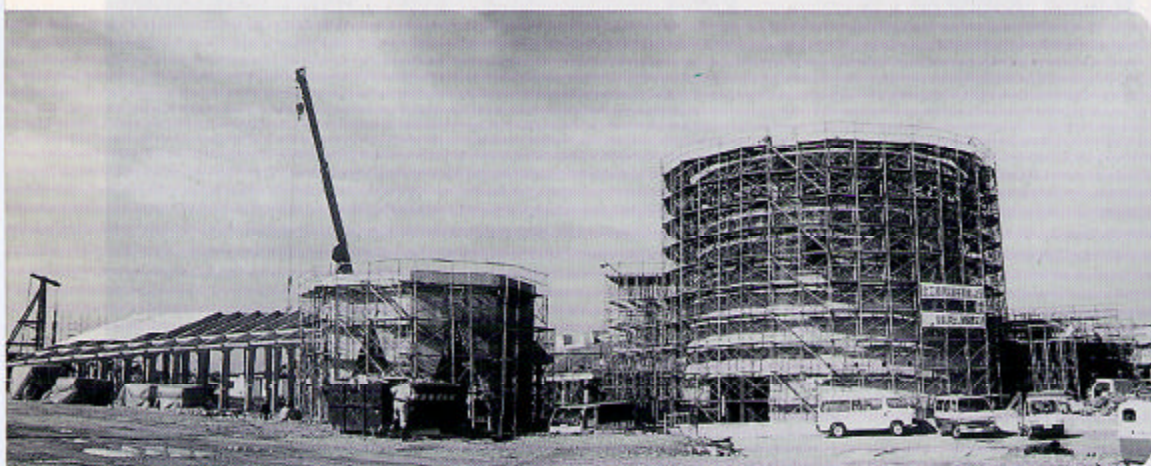
広瀬 喜代志 議員（新世紀の会代表）

町長

デイサービスセンター・鍊成館・

ふれあい交流プラザをオープンする

完成が待たれる（仮称）ふれあい交流プラザ



米澤町長 地域福祉の基盤整備として本年度からの継続事業である「ふれあい交流プラザ」建設事業や、健康づくり、地域情報化などの運営事業を予定している。新規事業として特別養護老人ホーム建設、デイサービスセンターの運営、介護保険制度への対応など、地域福祉充実のための事業等を行いたい。歳入の動向と見通しについては個人町民税や固定資産税の伸びは期待できず、地方交付税も本年度より減額となり、さらに交付金関係の伸びも期待できず、財政調整基金や減債基金からの多額の繰り入れ

で補填せざるを得ないものと考えている。

問 特養ホームの運営についていかに考えているか。

町長 建設中のデイサービスセンターと並行して準備を進めている特養は一市三町で設立した新川地域介護保険組合からの500万円と町が1000万円出資する広域法人が運営主体となる。

問 深層水事業は町の命運をかけるの大事業となるがどのような対応をするのか。

町長 取水施設の周辺道路や、産業インフラ、墓盤の整備を進め、企業誘致策を講じたい。深層水は健康面

での効果が期待でき、潜在的な海洋療法施設の建設も検討したい。

新総合計画の

基本方針について

町長 地下水や深層水など地域資源を生かし新たな産業の育成に挑戦する、高齢化に対応した保健福祉の充実、CATVなど高度情報化を視野に入れた情報インフラの整備、住宅整備など若年層の人口対策を図りたい。

心の教育は現在の

教育にとって最重要課題

問 少子化時代の教育行政

には30人学級などゆとりある教育の推進が必要でないか。

米島教育長 今、学校では心を育てる場として道徳教育や特別活動の充実をはじめ子供の悩みを受け止める相談体制の充実などに努めると共に、カウンセリングに関する教員研修にも力を入れる。30人学級は、私たちにあって理想であるが、現在、国の「教職員配置のあり方に関する調査協力者会議」において協議されており、県では現在40人体制であり動向を見て対応したい。



お年寄りをお招きしてベッタンコ

# 平成12年度予算編成に

## あたり考えを問う

谷口一男 議員（フォーラム21代表）

### 町長

「地域福祉推進の年」と位置づけ編成にあたる

**問** 平成12年度は入善町

民総合計画の最終の年であり、総仕上げの年となる。

予算編成にあたり、どこに特徴があり、町民に何をアピールしていくのか。

**町長** 新年度は、介護保険制度への対応など福祉基盤の充実に努め「地域福祉推進の年」と位置付けしていく。

活力ある町づくりのため、深層水の取水施設や、活用施設整備をおこなう。

また、下水道整備事業、東町住宅建設事業など生活基盤整備事業も引き続き進めていく。

**老人、介護福祉に対する町民への意識の高揚や徹底は**

**問** 介護保険の導入に、町民の中では不安と期待と増

税感が漂っている。

町はどの様な政策を講じていくのか。

**町長** 40歳以上の国民全員に保険料の納付を義務付け、認定された人しかサービスを受けられないという不公平感が生じると懸念される。広報、パンフレット、冊子を全戸配布して制度の周知に努めている。

また、機会あるごと地域に

出向き説明をかさねている。

**子供たちへの福祉教育は**

**問** 核家族が増え、お年寄りとの触れ合う機会が少なくなっている。福祉とは何か、介護とは何かを自分で

きずく教育が必要。当局はどの様に考えていくのか。

**教育長** 福祉教育の重要性

は論を待たない訳であり、学校の生活や、地域の活動の中に解決の糸口があると思う。道徳教育は人間尊重の精神と生命に対して恐れ、家庭、学校、地域社会の中に生かし豊かな心を持ち、主体性のある人間を育成する。

公共施設においては、児童生徒の受け入れる環境整備に努め、育児教室や保育所の活動とも連携をとり、

青少年の健全育成や福祉教育の推進に努めていく。

**循環型農業について問う**

**問** 台所から出たものは台所に帰り、健康な土から安全で安心な食料が作られ、それらを食すれば健康な体

になる。

循環型農業から持続型農業へ、良質の堆肥生産を考え、土づくりと有機栽培に本格的に取り組む考えはないか。

**本木助役** 入善町農政の基

本は人づくり、物づくり、基盤づくりを柱として、良質米生産の持続と有機米づくり、経営の複合化、直播

栽培の定着化と集落営農の推進によるコスト軽減、農業後継者の育成や、専門的

農家の経営規模拡大などに

取り組んでいく。家畜排泄物等の有効利用による地方

の増進を図り、自然循環型農業の施策と位置づけている。平成12年度は、畜産経営の現況を踏まえ環境の保全に努めていく。

# 大型店の出店計画に対する 対応を問う

板川清治 議員 (善政クラブ代表)

町長 総合的に判断し反対する



異世代間交流が注目される声崎保育所

**町長** 大型店の進出は、商店街の衰退や街づくり計画の支障、商店で働く人達の生活破壊につながる。

また、「ブランド4」出店反対について、入善町商工会、入善町農業協同組合、朝日町商工会、宇奈月町商工会など21団体が出店反対の請願書を11名の町議会議員の紹介で議会に提出されていることを重く受けとめている。

「ブランド4」の転用規模面積は約7haであり、県農業経済課、北陸農政局など関係官庁と法律的、行政的設定基準などについて慎重に協議を重ねてきた。

また、4haを超える農振除外及び農地転用は農林水産大臣の認可案件であり、認可を求めるためにクリアしなければならぬ課題があり、非

常に難しいと認識している。

従って、総合的に判断し出店計画に反対する。

**問** 今年度予算の執行状況を問う

**町長** 一般会計については執行率67.4%であり、昨年の61.2%に比較し順調に執行している。

下水道特別会計は69.8%であり、農業集落排水特別会計は95.2%と一般会計と同様に順調と考えている。

**問** 来年度予算案編成にあたり自治省からの留意すべき事項をどう予想しているか

**町長** 平成11年度からの15か月予算の性格や情報化、高齢化、環境への対応、経済新生対策への対応などが求められるものと予想している。

また、地方分権に伴う改革や地方行革の推進、更には地方税や地方交付税の減収も予想されることから、適正な財源の見積り、公債依存の適正化、健全財政の維持なども強く求められるものと考えている。

**問** 美術品の管理に関する諸問題について

上原生涯学習・スポーツ課長 美術館の建設計画は新総合計画の中で改めて検討する。

町が所蔵する美術品の展示は、来年度に町民会館の2階で常設展示し住民にご覧頂けるようにしたい。

**問** 高齢者のキャリア活用対策と子育て支援策について

上田健康福祉課長 異世代間交流を念頭においた施設づくりが必要であり、現在建設中の声崎保育所は未入所児の親子や高齢者が気軽に立ち寄り、保育園児とふれあいができるよう地域交流・子育て支援室を設置した。

高齢者が長年培われた専門体験や技能を活用して頂きたいと思っており、生きがい対策につなげたい。

今後、異世代間交流の場づくりには、教育委員会とも連携をとり努力していきたい。



陸砂利採取後の埋め戻し作業

# 国保税は世帯割・均等割の引き下げを

九里 郁子 議員（日本共産党代表）

## 町長

医療費の動向を見極め検討したい。

**問** 介護保険料の減免条例の検討が必要である。寝たきり予防や生活支援事業を行う考えはあるか。

**町長** 訪問看護体制は大丈夫か。ホームヘルパーの身分を社会福祉協議会に移管した場合、給与保障のために応分の補助が必要である。

**国民健康保険税の世帯割・均等割の引き下げが必要。健康福祉課長** 介護保険料の減免制度は新川地域介護保険組合と一市三町で検討したい。

**町長** 現在の介護予防、支援対策事業を拡充・拡大する。訪問看護は不足が心配。将来的には訪問看護ステーションを検討したい。

**問** ホームヘルパーの身分移管により、社会福祉協議会の負担にならぬよう支援するつもりである。

**町長** 国保税の引き下げは、介護保険に移行が見込まれる約3700万円や医療費の動向を見極めながら十分検討したい。

### 高金利の地方債の繰上げ償還を

**問** 今年度予算の町民税と地方交付税の見直しはどうか。公債費比率と起債制限比率の差が年々開いているが、これは何を意味しているか。高金利の地方債の借り換えや繰上げ償還を行う考えはあるか。

**町長** 個人町民税は予算に

対し、1500万円余の減額調定。法人町民税は前年度決算額より約2600万円減収となるが予算額は確保できる。減税による影響額は地方特例交付金、減税補填債で填償される。

**町長** 地方交付税は約4億4000万円の増である。比率の差は地方交付税本来の自由に使える部分が縮小され、起債の償還財源化しつつあるということである。

**政府資金の繰上げ償還を町村会を通じ要望していく。**

### 保育料の引き下げを

**問** 下新川三町で一番高い保育料の引き下げ、第3子の保育料減額制度の実施、小学校入学前の子どもの通

院医療費の無料化など、少子化対策として実施する考えはあるか。

**町長** 保育料の引き下げ、第3子の保育料の軽減は十分検討していきたい。子どもの医療費無料制は大は有意義な施策であり、拡大にむけ鋭意努力したい。

### 地下水保全条例の制定する考えは

**問** 陸砂利採掘の地下水への影響も懸念されている。地下水保全条例を制定する考えはあるのか。

**町長** 平成十二年度まで環境庁が進めている、黒部川属地域での調査結果を見ながら一市三町で協議したい。



# 深層水の利用を問う

山下 勇 議員 (新世紀の会)

## 町長 産業インフラの整備と 企業誘致策を講じたい



鮭のそ上が増えている庄助川

**問** 本町の漁業は沿岸漁業が主であり、これ以上の漁場の拡大は望めず、作り育てる漁業が重要になっていく。しかし深層水事業の水産部門では投資効果は薄く、非水産部門の開発が今後不可欠ではないかと思われる。そこで海洋療法の効果等が証明され、応用検討されているが開発研究機関等の協力はどの様にお考えか。新規の産業及び地場産業の開拓を積極的に進め、

食品団地を形成し地域の活性化につなげる考えは。  
**町長** 海洋深層水は新しい資源として注目され、様々な分野での利用が期待されている。事業基本計画では深層水の利用は水産分野を中心で行うことになるが、分野以外にも新規産業活動の誘致誘致を目指しており、産業インフラの整備と企業誘致策を講じていきたい。県の衛生研究所において水浴効果を科学的に検証研究

がなされており、今後健康づくりのため深層水を利用した滞在形海洋療法施設の開発検討を進めて行きたい。食品団地形成に付いては食品に限定することなく水利用研究企業所の立地利用の確保を検討したい。

### 広域圏行政の 役割について

**問** 自治体の区画を超えた広域行政施行が課題であり、新川広域圏の役割も大

きく我が町長は広域圏副理事長を自ら辞退された理由を聞きたい。  
**町長** 広域圏とは何をするのか、町がこの部分にどの様にかかわるのか、私はしばらくの間勉強したいと副理事長席を辞退した。

### 庄助川と鮭の蘇業

**問** 庄助川は伏流水から形成された川で、玉石工法をもちいて自然に一番近い川として改修された。メス鮭は投網により捕獲され生簀へ、オス鮭は川から海へと捨てられており、この鮭の生涯を見て自然に孵化させることが出来ないものか。鮭の泳ぐ姿を見る機会も少なく、子供達の情操教育のためにも川をのぼる鮭の姿や、産卵の様子を見ることができるよう、強く要望する。

**松島建設課長** 清水が湧く極めてきれいな川で、この様な水路は本町ではこの川一本だけである。湧水を助長させ、鮭のそ上をしやすくしてあり、今後ともそ上、産卵風景が見られる川づくりのために、関係団体へ指導していきたい。



郷土に息づく民俗芸能



# 無形文化財の

# 保存について

長谷友義 議員（新世紀の会）

## 町長

## 新総合計画の中で検討

問 入善町の幾つかの集落で保存されている太鼓は、それぞれ歴史がある。特に舟見の本陣太鼓や野中の今江太鼓等は、約300年も前からの由緒ある文化のひとつである。ところが練習する度に近所から苦情が出て、苦勞している。文化の保存と振興を計るためにも、ぜひ入善町内に一カ所防音装置付きの練習場を建設するのが当然ではないか。

問 我が入善町の農業は農地の資産的保有傾向が強い。兼業農家が多い地区

### 今後の農業の

### 推進について

問 施設整備については、新総合計画の中で検討すべき課題と考えている。

問 者の不足等の大きな課題を抱えており、このような状況を踏まえて先月、全農家の皆さんに、十年後を見た農業意向調査をおこなったところである。町のこれからの農業経営の基本的方針として、農業者の理解を得て、農業改良普及センター、JA入善町など関係機関と協力しながら、中核的農家の支援と集落営農の推進及び、生産コストの低減など生産性の高い農業を目指し務める。

# JR入善駅の無人化と 防犯対策をどのように 考えているか

東 狐 和 議員 (無所属)

町長 JR西日本・県と善後策を協議している



乗降客でにぎわう入善駅

問 業務委託駅の夜間無人化は乗降客の不便はもとより非行者の溜まり場となり、駅施設が荒廃し町の顔である駅が汚される。防犯や防災上極めて重大な問題である。その対策は。

町長 平成11年8月5日入善駅を午前7時から午後8時までを業務委託駅として、夜間は無人化するとJR側から申入れがあった。善後策について県と協議し、時間延長等の要望を重

ねている。駅前交番の施設について、県警やJRと協議している。町民会館に至る上町君島線道路の交通安全灯の設置について建設課長 交通安全上区長や地元の同意を得て年次的に設置の予定である。

## 障害者福祉計画について

問 障害者の声を生かした福祉計画は策定されているか。

町長 障害をもつ方々の自立と社会参加が出来るよう町づくりを目指し、実状に即した計画の策定を検討する。

## 障害児の「ことばの教室」設置について

問 障害児がやがて社会の一員として自立社会参加していくために適切な教育を行う為「ことばの教室」が設置されれば未就学児等に對してもより早期に「ことば」の指導やカウンセリングが出来る。保護者から請願書が提出されているがその対策は。

町長 教育委員会としてこの要望を受け止め前向きに検討していく。

おおよび高齢者入浴利用料の減免措置についての対策は。町長 団体活動の実態や運営等について再確認を行い補助体制を検討したい。

## 子育て支援対策について

問 社会に学ぶ14才の挑戦の実施結果と今後の課題は。

町長 この事業は各方面で高く評価されている。来年度も継続したい。

問 不登校・いじめ・学級崩壊などの実態は。

町長 町内の不登校は小1名、中1名である。いじめは過去、小3名、中1名で注意深く観察を続ける。学級崩壊はない。

問 町内保育所のピアノ更新とチャイルドシートの貸与は。

町長 芦崎保育所の古ピアノを更新予定で他の保育所も検討。チャイルドシートは交通安全対策と少子化対策として助成する。



改修が待たれる陸上競技場

# 総合運動公園の施設整備と

## 今後の改修計画を問う

松 沢 孝 浩 議員（善政クラブ）

町長

平成13年新総合計画に合わせ

改修に着手

**問** 入善町民総合計画・基本構想の中で「生涯にわたる健康づくり」を基本目標に掲げ、町民一人1スポーツをめざして施設整備や普及に努めている。総合運動公園は、施設の老朽化や不備な点が目立ち、町民の皆様から施設の改善を強く要望するところであるが、今後の改修についての方針を問う。

**町長** 昭和49年に完成した総合的なスポーツレクリエーション施設として、本町のみならず近隣の町からも利用頂いている。

現状は、施設の老朽化や不備な点が多く、改修の必要性も十分認識している。これからのことについて

は、以前より関係競技団体やスポーツ振興審議会などと検討を重ね、昨年、運動公園の改修計画を策定した。

この計画では、陸上競技場の改修にかかる費用は、約4億円余りと見積もられており、財源の問題も見極めながら進める必要がある。

また、運動公園の周辺整備に伴い、福祉設備の整備を進め、健康・スポーツ・福祉ゾーンとして、計画を踏まえ取り組みたい。

平成13年度からの新総合計画の策定に合わせ、改修に着手していきたい。

**離岸堤設置について**

**問** 建設省の直轄海岸である目川、木根の海に離岸堤設置にご尽力頂きたい。また、自然環境を後世に残すために、現行の離岸堤で埋め尽くすのではなく、美しい海を残す取り組みとして、国・県に町当局は、どのような働きかけを行うか。今後の計画について問う。

**建設課長** 直轄海岸で離岸堤のない箇所は、入善町で3カ所あり、いずれも人家の無い所。建設省では、まず人家のあるところから離岸堤・副離岸堤・緩傾斜堤と整備を進め、人家のない所でも順次整備を進めているが、離岸堤は、100m

1基に約4億円、吉原の新離岸堤は、約17億円。今後とも、関係機関への要望を行う。

次に、海岸の整備による美観改善は、直立堤から人口リーフを伴う緩傾斜堤への要望も行うが、海岸侵食防止効果の高い離岸堤の設置に重点がおかれている。

また、環境整備上、防潮流の整備にも着手している。

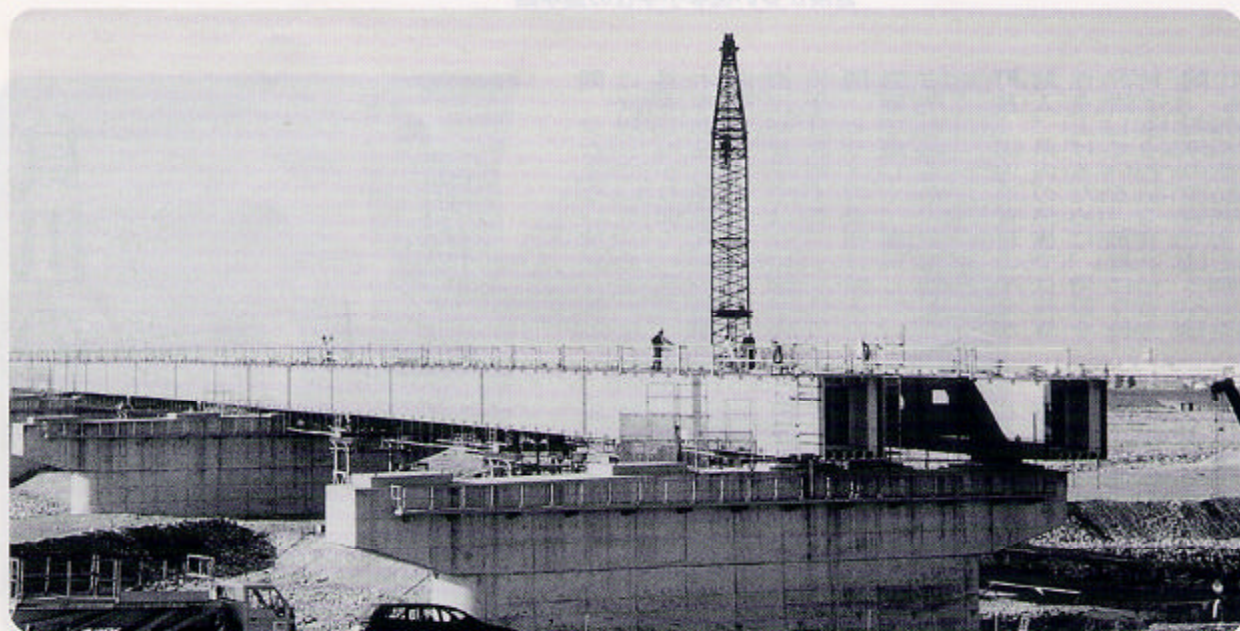
今年度は、目川地先で施工中であり、今後も魚津農地林務事務所と協議をした

# 地方自治体の

## 広域合併構想を問う

本多 幸男 議員（無所属）

町長 広域行政を推進する中で相互理解が高まる



広域行政の懸け橋となるか…新黒部大橋

問 地方分権一括法が制定され、明年4月から施行され

る。国は市町村の行政サービスの向上を目的に合併特別

法などに基づき積極的に推進しているが、町長は国の方針をどのように受け止めているか。

町長 自治省は都道府県知事に対し、市町村合併推進の要綱作りを具体的に要請している。富山県も12年度中に要綱を作成し、市町村に示されるものと考えられる。

問 新川2市3町が競い合っ

て建てた箱物が借金財政として残っている。共同して活用できないか。総合病院、特養老人ホーム、高等教育機関、レジャー、ショッピングに至るまで住民ニーズに政策で対処すべきである。1市3町の新川地域介護保険組合を土台に近い将来、市町合併の考えはないか。黒部川扇状地に育くまれた地域の大同合併に依って高い水準の行政サービスこそ望ましい将来像と思うが、新総合計画での町長の基本方針を伺いたい。

町長 合併の効果や懸念される諸問題はいくつもあるが、合併を前提にするのではなく、現在の広域行政をさらに推進する中で相互利用、相互理解、人の交流が高まると考えている。

21世紀の望ましい商業圏をどのように構築するか

問 入善町は新世紀に向けた均衡ある商工業の発展策を計画的に実施しなければならぬ。町民が町外で買い物をする金額と理由など基本調査が欠けている。当局は入善町の経済動向をどのように分析しているか。

町長 町民が町内で買い物をする金額は年191億7000万円、町外の人が入善町で27億5000万円買ってくれ、町民が町外で54億6000万円買っていると分析している。

問 町長は「みつた」の進出に反対と言っているが、これからも大店舗立地法に基づき進出が予想されるがその都度反対するのか。入善町は市街地周辺に集中し、町西部南部は黒部市へ流出している。行政主導で均衡ある商業圏を造成せよ。

町長 「みつた」については21の団体や2630名の署名、11人の議会議員も反対しており私も反対したい。また、他に出店要請が出てくればその時考える。



危険が多い桃李小学校の通学路

# 負担の大きい養殖事業を

# 漁民に押し付けるな

松田俊弘 議員（日本共産党）

## 助役

期待の面をとらえていく  
今は失敗について述べるときではない

**問** 少なくとも漁民が養殖に反対している。漁民の意見をしっかりと聞くべきだ。

**木本助役** 各組合長から推進策を受けている。全ての漁民が賛成ではないが、今後十分説明する。

**問** ヒラメの養殖は輸入の影響で厳しく、廃業している所もあるが、実態はどうか。

**町長** 国内消費量の半分が輸入。県内の漁協では採算性を上げるために、増設を計画している。魚種は今後十分検討する。

**問** 新湊の漁協では3年目でも赤字であり、技術の習得には5年はかかるという。その間の負担や、失敗したときの補助金の返還は

誰がするのか。

**助役** 期待の面をとらえていくのが基本。失敗の責任云々を強調するのはいかなものか。

**町長** 専門技術者の配置や、漁民の研修などで支援していく。

**問** 養殖には2℃の深層水を18℃以上まで上げなければならぬ。その対策はどうするのか。

**町長** 経営を左右する問題なので今後十分協議する。

**問** 最近、沿岸へドロ口状の物が頻りに網に掛かっている。漁民は漁獲の急激な減少との関係を心配しているが、町の見解はどうか。

**大角農業水産課長** 因果関係は分かっているが、水

産試験場とも相談している。

**今後まちづくりと大型店について**

**問** 入善と同じような状況で大型店の出店を取りやめさせた例はあるか。

**飛田商工観光課長** 茨城県守屋町の農地に計画していた大型店を、農政局が取りやめさせた。

**問** 大型店の規制を含めたまちづくり条例を策定する考えはあるか。

**町長** 近い将来必要になってくると考えている。関係機関とも協議していく。

**桃李小学校の通学路の整備について**

**問** 桃李小学校の通学路は危険なところが多い。対策は考えているか。

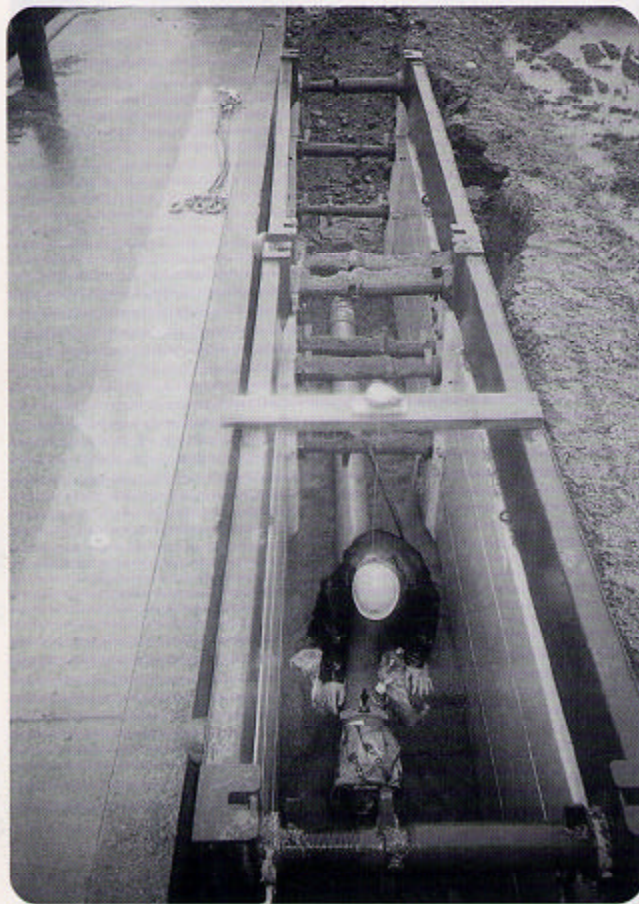
**建設課長** 危険な箇所は認識している。県には引き継ぎ要望していく。町道は支障のある部分から整備していく。

平成二年からの整備計画では、国は当初、町が申請した道路の全てに補助金を付けたが、近年では一年に一路線にしか付かないので、整備はなかなか困難である。

# 下水道に係る、改造資金・融資斡旋制度の 充実と合特法の対策に危惧

元 島 正 隆 議員 (フォーラム21)

## 町長 町民の負担軽減に、利子補給制度の実施



入善西部処理区分の管理設工事

**問** 下水道全体事業費が440億円、事業期間が20年である。公共マス設置事業に対しての個人負担25万円だけでは足りない。家庭内の汚水を下水道に流すための配水施設は条件の良いところでは50、60万円、悪いところでは100万円以上かかると言われている。

**町長** 下水道は美しい自然環境を守り、快適で豊かな生活を営んでいく上で、欠かすことのできない施設であり、入善町で最初の下水道処理区域となる小摺戸地区が12年10月、13年10月には五十里地内でそれぞれ開始を目指している。

**問** 最後の一軒が下水道に接続されるまでの期間、し尿処理業者への支援によって、し尿の適正処理を確保されなければならない。水道事業の普及で業務が著しく縮小された、し尿処理業者の救済のために全国の多くの自治体では業者支援費が膨大な額になり、自治体財政を圧迫する要因になっている。

**町長** 合特法に基づく処理業者への支援費は、町財政への影響が非常に大きいものがある。

今後、全国の先進事例等を研究し適切に対応して参りたい。

自然がもたらしてくれた、又、先人が残してくれたこの扇状地を荒廃とした形で後世に渡すか、水キラキラ町いきいき入善の地を残していくのか、今、現在生活している者の大きな責務だと認識し万全をつくしていく考えである。



入善校下防災器具の始動訓練



# 防災計画に

## いかに取り組むか

上野 等 議員（善政クラブ）

### 町長

## マニュアルの見直し 住民意識の高揚を促す

#### 防災の取り組みについて

問 災害が発生した場合、食糧、医薬品、毛布の備蓄や、ライフラインの確保等、防災計画に如何に取り組まれるか。

町長 神戸大震災を契機に平成8年8月、入善町地域防災計画のマニアルの見直しを図った。

災害予防、応急及び、復旧の災害対策を総合的に定め、住民の生命、身体及び、財産を保護するとともに、被害を軽減し、もって住民

の安全と公共の福祉を確保する。食糧については、平常から原則として各家庭において、3日間程度の備蓄をする。被災の状況に応じて知事への米穀の出荷要請をし、炊き出しを行う。

医薬品、衣料等は町内の取り扱い業者から、緊急確保体制を整備するとともに大きな被害がでた場合は、災害救助法適用となり、これらにしたいが、県、国、及び日赤等の機関に救援、救護の要請が出来ることになっている。

11月6日に舟見地区において、入善町地域防災計画の定めにより発生が予想される各種災害に対し、応急対策を迅速かつ的確に実施し、被害の拡大を防止し、防災に対する住民意識の高揚を促すものである。

問 平成4年導入救急車の更新予定はいつか。

上野消防署長 現状での普通救急車には、救急救命士の特定行為が実施できる。

最新の救急救命資機材は積んでおらず、わずかに血中酸素飽和度の測定、血圧

測定、心電図波形が表れるプロバックしか積んでおらず、予備車の運用が余儀なくされている。

救急車の更新については、10年〜11年経過後更新を図っていきたく思っている。また、これからの救急車は、高規格救急車と考え、平成13年度から始まる、新総合計画に組み込み、導入を図っていく予定である。



# 介護予防・生活支援対策への 対応を問う

大橋 美椰子 議員（無所属）

町長 現行のサービスを低下させない  
拡充を図る



協議されている旧栴山小学校

問 国が示した保健福祉事業の内容には、転倒予防、閉じこもり防止等の介護予防策と、配食、外出支援、寝具乾燥などの生活支援が示されている。認定後の状況と「自立」、介護保険対象から漏れる高齢者へのケアは万全か。

町長 12月8日現在、申請256名、内167名が

審査終了。自立1名、要支援30名、要介護1は34名、要介護2は25名、要介護3は28名、要介護4は22名、要介護5は27名となっている。基本的には現行のサービスを低下させない。国が創設する事業を活用し、拡充を図っていく。

「実施する責務を有する」町長が総務課が担当すべき

問 男女共同参画社会の形成は、「町長」か「総務課」が担当すべき。

「男女共同参画社会基本法」の中で「2000年プラン」として4つの基本目標が挙げられている。間違いないと突入する超少子高齢化への対応は、男女が共に人格を認め合い、支え合い、知恵を出し合っていく以外に無い。国では推進本部長に内閣総理大臣が就任、実施する責務を有する地方公共団体としては、町長が担当されるか、少なくとも「総務課」が担当し、行政卒先しての取り組みが必要と考える。

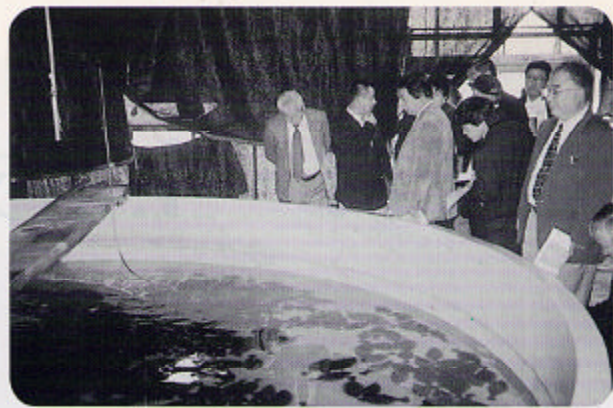
町長 本町の行政規模であれば、各課の連携には特に問題はなく、女性係は実務上、女性関係団体や婦人会など関係団体との関係が深い、教育委員会がより望ましい。基本法の理念や事業の内容を普及・啓蒙していくことは、単に担当課や担当者が動けばできることではない。教育委員会に担当課があるからといって、活動の低下はない。

どう残すかが、その町の文化レベル  
旧栴山小の保存と活用を希う

問 雨漏りさえしなければ、あと100年は大丈夫。築後70年近くたっていても板壁に割れ目や腐食がない。きしみも歪みもなく厚さ1寸の板張りには驚いた。腕のいい大工達が、良い材料を使って、高いレベルの仕事をした。等々、保存に対する意見が、数多く言われている。「古いから壊すのではなく、いいものは残すというのが文化」とも言われている。建物は使わなければ老朽化が進む。地元が反対すれば取り壊すのか。新聞やラジオでも取り上げられ話題になっている。この建物を保存・活用していく考えはないのか。

大木企画広報課長 旧栴山小の保存と活用について、町では何に使うかもまだ決めていないので、地元の意向を最大限に尊重し、協議して整備計画を進めたい。

# レポート



深層水を活用した新湊市の養殖事業

12月16日・17日・20日の3日間、総務、教育福祉環境、産業経済の各常任委員会が開催され、付託案件を審議した。

以下、各常任委員会の要旨を報告する。

## 総務

### 新設 消防ポンプ置き場 補助の制度化導入を評価

可搬式ポンプ置き場整備等の補助は、そのつと対応しての補助であったが、地域自衛消防の振興と防火意識の高揚を図ることを目的とした施設にたいして、新しく補助制度化に対応したことを評価する。

漁港高度利用活性化対策事業及び流通等改善施設整備事業県補助金1億610万円

町民が大きな関心を寄せ

ている深層水事業予算で、非水産部門の将来性は期待できるが、水産部門の養殖・蓄養事業に関しては、経営面で非常に厳しいものが予想される。

富山湾の深層水は、水温が低いという特徴があり、水産部門にとつて良いが、逆に養殖という現場においては、この水温が低いというの大きなネックになることから表層水もいっしょに汲み上げないと、養殖の成功率が低いと言われている。

るので検討すべきである。

日本で初めての深層水活用養殖・蓄養事業であり、不況にたっている水産をたて直したいという漁業者の声を真剣に受け止め、後戻りできない事業であり、将来を見据え不転の決意で事業着手するよう切望する。

人事院勧告の実施に伴い  
3705万円の給与等  
減額

今、日本が抱えている民需の拡大という面で、職員及び議員の期末手当の引き下げは、消費が延びなくなると言う悪循環を心配するところであるが、一般社会の不況実態からみて、現実に即した対応であり、やむを得ない。

## 教育 福祉 環境

### 福祉行政への取り組みは評価する

少子、高齢化が進展するなか、老人福祉については、大変重要な事業でありホームヘルプ事業、在宅介護支援事業、要援護対策事業などの追加補正の対応について

では、高齢者が増加している今日の社会情勢のなかで、積極的な取り組みとして評価する。  
今後、これらの事業へのより一層の取り組みと、活



期待されるホームヘルプ事業



町のイメージアップにつなげたい…関西入善会

## 常任委員会

躍を期待する。  
併せて、ホームヘルパーの社会福祉協議会への身分移管やその財源問題について、早急に関係機関と協議のうえ対応されたい。

### 保育料の検討を望む

当町の保育料は、一般的に高いといわれているが、施設等も整備されており、高くても致し方がないという意見もある。

しかし、入善町から他市町は17名の広域入所者があり、入善町へは5名しか入所者がいないという現実を見たとき、仕事の関係というだけでなく、保育料が高いとの感覚に起因しているのではないかということを目指しておきたい。

今後とも保育料については、入所者の負担、財政問題、社会情勢等をも十分勘案し、優良企業の誘致等を踏まえ検討されたい。

また、保育所における備品購入について、たとえばピアノなど新しいものを購入する考え方だけでなく、資源の再利用の面から、広報など通じて、町民に呼びかけ配備するような方向も検討されたい。

### 医療費の抑制に努力せよ

今後とも、高齢化社会などの進展により医療費の伸びが予想される。健康増進に一段と意を用いて、関係

## 産業

### 深層水事業には

### 慎重な対応を望む

漁業を取り巻く環境は大変厳しく、その対策として取り上げられたのが、深層水事業であるが、しかし、蓄養、養殖事業の水産部門は全国で初めてであり、今はまだ研究段階である。各漁協や地元漁業関係者への十分な説明と理解、そして調査、研究を重ねる重かな対応を望む。

また、非水産分野での活用についても国、県などの関係機関とも十分協議を重ね、地場産業の振興と新規産業の開拓、そして、町のイメージアップと魅力ある町づくりに取り組まされたい。

## 経済

機関と連携をとり、健康な体づくりと適性な受診の指導などを通じ、医療費の抑制に努め、豊かな老後をおくることのできるよう指導に努力されたい。

水道料金値上げはやむを得ない。

料金の改定は昭和47年に水道が出来てから現在まで一度も実施されていない。値上げの説明と経過報告について、組合員に十分な説明をし理解を求められたい。

株式会社みつた「ブランド4」出店反対についての請願に相当の時間をかけ審査

単に入善町の商工会の問題といった狭い範囲でのと

らえ方だけでなく、将来的な町づくりの展望にたち、商業のあり方、農業のあり方、町づくりのあり方などをトータル的に考えたこれからのビジョンづくりが必要であり、今後、十分検討していく必要があるとのことから、現時点での出店反対についての請願を賛成

多数で採択した。  
なお、町全体への経済効果として、雇用の創設や税の増収が見込める等を指摘する意見もあつたことを併せて報告する。

## みなさんの請願

### 陳情のゆくえ

- 国民本位の公共事業推進と直轄事業執行体制の拡充を求める請願書……………採択
- 町道「報徳園家線」の拡幅改良についての請願書……………採択
- 「こはの教室」の設置についての請願書……………採択
- 株式会社みつた「ブランド4」出店反対についての請願書……………採択
- 入善町福寿会連合会への助成についての陳情書……………採択
- 町道「神林青島国道線」の拡幅改良についての陳情書……………採択
- 町道「西蓮寺線」北側の水路改修に関する陳情書……………採択
- 町道「目川中央線」の拡幅改良についての陳情書……………採択

# 決算

平成10年度



決算特別委員会審査風景

決算特別委員会は、9月17日委員会に付託された。平成10年度の各会計について11日間にわたり審査した結果、賛成多数で認定すべきものと決定し、12月22日本会議に報告され認定した。

なお、審査の過程で出された要望・意見は、次のとおりである。

## 町のお金が適正に効率よく使われたか

### ◆一般会計

歳入については、景気低迷の長期化、減税などにより町税の減収をきたし、その対策として地方消費税交付金の増収及び減税補填債等で補うことを余儀なくされたところであり、引き続き財源確保及び財政基盤の確立に格段の努力を望む。

### ◆決算剰余金の取り扱いが適切か

決算の剰余金は、繰越剰余金をとれただけ予算計上し、とれただけ保留するかは、町長の考え方の問題であるが、剰余金の過半を基金積み立てに充当している。

いま緊急の課題となっているのは、景気浮揚対策であり、地域経済を守る立場にたつて、町民や企業の所得増につながるような剰余金の活用をはかるべきである。昨年も指摘があったところであり、今後の財政運営策について十分検討されたい。

### ◆海洋深層水の現状と今後の展望

地域活性化プラン「アークアビレッジ基本構想」が策定され、名水の町にふさわしい魅力あふれる、個性ある町づくりの起爆剤として海洋深層水事業が計画されたが、全国で初めて水産部門での深層水活用事業ということで、問題も多いところである。

今後、調査・検討を十分行い、関係機関とも協議を重ねながら、富山県の海洋深層水事業であるとの認識を県下に働きかけながら、事業の推進を求める。

### ◆入札制度の透明性、公平性について

入札制度の透明性、公平性を長年要望してきたところであるが、平成11年度から、入札価格の事後公表、請負業者の格付、発注、指名等各基準の明確化についての改善に対し評価しているが、平成10年度においても大型事業終了後においても、多額の物品等の寄附が寄せられている。

このような寄附行為は町

### ◆保育に懸ける町、職員定数について

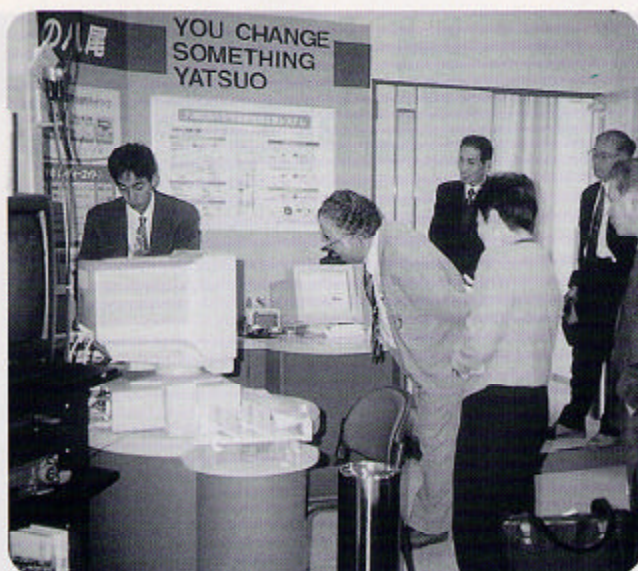
保育士と調理師の身分について問題視されている。児童福祉法の改正により、3歳未満児保育、延長保育、障害児保育など積極的に進めているが、必要な保育士は臨時職員で間に合わせるというやり方でなく、事務職員を含む全体職員定数をみながら、対応すべき課題であり検討されたい。

### ◆介護保険に伴うホームヘルパー対応について

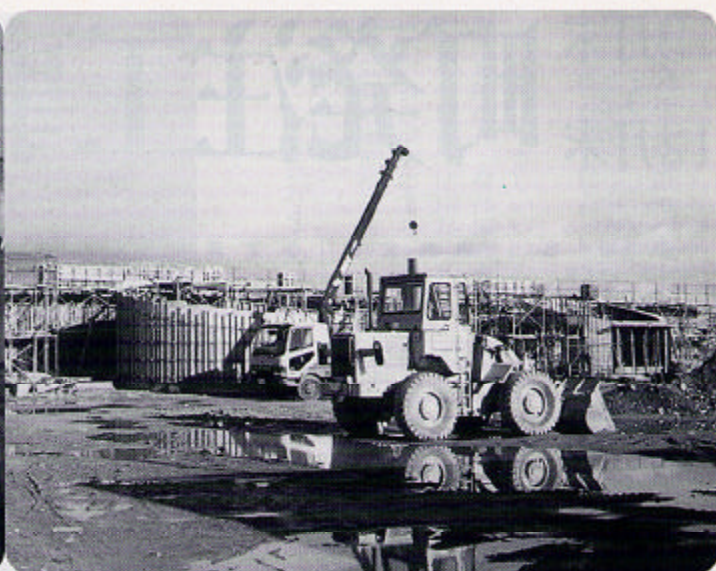
介護保険の柱の一つであるホームヘルパーの身分と労働条件の確立について、かねてから議会で指摘されているが、4月からの介護保険実施に合わせ、社会福祉協議会へ、移管されるとの事。

社会福祉協議会は社会福祉

民の不信を招くものであり、改善した入札制度は一体何なのか、行政不信につながるものである。このような行為は現に、住民の信頼にたつた行政の運営に努めるべきである。



八尾町のCATVを視察



建設中のデイサービスセンター

## 反対討論

財源を地方債発行でまかなう単独事業が補助事業の1・4倍を占め、借金が増える要因となっており、町債残高は105億6343万円にもなっている。地方交付税には、国庫補助対象だったものを算入したり、地方債償還の一部を導入するなど、交付税制度本来の原則に反して、地方財源の用途にあらかじめ国が関与する不当なものである。国に対し、交付税率引き上げや政府債の借り換え、繰上げ償還の実施などを強く求めていくことである。

職員で対応している。歳出総額に占める職員給の構成比は10年前より下っている。自治体行政の特徴は、人的サービスが大きな比重をしめ、福祉や教育関係は「人件費」事業費であり、やみくもに人件費を減らせたいというものではない。県漁連からの5億円の寄附金は、出し平タム排砂による漁業被害に対する補償金の一部である。深層水事業の漁業分野は、事業主体者の漁業者の合意が得られていない。地方自治体のやるべき仕事は、自治法第二条に明記されている「住民の安全、健康及び福祉を保持する」ことである。

法人として独立した組織ではあるが、行政の組織部門の重要な一翼を担っていることから、そのあり方や運営などについて、積極的な指導強化を

図るべきである。また、ホームヘルパーの移動の足の確保は絶対不可欠であり、検討を求めるものである。

## 道路特定財源制度の

### 緊持等に関する意見書

東海北陸自動車道や8号バイパス等の道路整備財源を確保し、道路整備費の拡大を図ることなどを要望。

## 豆知識

### 合特法とは？

合特法は、「下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法」の略称です。この法律は、下水道の整備が年々進行する中で業務減少などの大きな影響を受けるし尿処理業者の近代化、合理化により業者の業務安定を保持する事と、廃棄物の適正処理を目的とするものです。つまり、業者の救済だけでなく、最後の軒が下水道に接続されるまでの期間、し尿処理業者支援によってし尿の適正処理を確保する事を意味しています。

### 道路特定財源とは？

道路整備事業費への充当が特定されている財源のこと。自動車関係諸税のうち、国税である消費税並びに道府県税である自動車税及び市町村税である軽自動車税は一般財源とされているが、揮発油税、石油ガス税及び自動車重量税（以上国税）軽油引取税、自動車取得税（以上道府県税）はいずれも道路目的財源です。

今日国道と地方道の整備状況に著しい格差がある現状では、地方における道路目的税の充実が重要な課題です。

# 9月末 12月末 町発注工事入札結果表

(単位：千円)

工事名	請負金額	予定価格	入札回数	落札率	請負業者名	備考
<b>土木建築一般工事</b>						
下山東線舗装	8,400	8,423	2	99.7%	(株) 氷見土建	
白森道路改良	8,170	8,410	1	97.1%	興和建設(株)	
若葉新線改良	12,700	12,947	1	98.1%	(有) 橋本工業	
鐘成館(機械)	17,900	22,424	1	79.8%	(有) 上田管工事工業所	
鐘成館(電気)	22,800	26,137	1	87.2%	(有) 入善電気工業	
鐘成館(建築)	172,800	214,899	1	80.4%	(株) 五十里工務所	制限価格以下3社
漁港改修その2	19,450	19,585	1	99.3%	竹田建設	
その3	18,600	18,885	1	96.5%	本田建設(株)	
その4	28,600	34,167	1	83.7%	真岩土建工業(株)	
その5	28,000	33,634	1	83.2%	(株) 杉沢組	
その6	29,300	33,101	1	88.5%	高田建設	
発注件数全26件	432,020	501,583		86.1%		
<b>公共下水道事業</b>						
入善 第69工区	24,900	25,484	1	97.7%	中山建設(株)	
第72工区	29,100	29,198	1	99.7%	(株) 中山組	
第74工区	31,500	31,504	1	100.0%	(株) 杉沢組	
第67工区	21,400	21,860	1	97.9%	古川建設	
第68工区	28,000	28,224	2	99.2%	黒澤工業(株)	
発注件数全10件	196,920	202,141		97.4%		
<b>特定環境公共下水道事業</b>						
入善東部22工区	32,000	32,384	2	98.8%	真岩土建工業(株)	
23工区	31,300	31,868	2	98.2%	テラノ工業(株)	
入善西部14工区	28,000	28,138	2	99.5%	(株) 内島組	
16工区	28,000	28,284	1	99.0%	広川建設工業(株)	
18工区	27,000	27,318	1	98.8%	(有) 宝泉工務店	
発注件数全14件	266,900	270,720		98.6%		
<b>農業集落排水事業</b>						
小摺戸 26工区	23,500	28,883	1	81.4%	笹島建設(株)	
44工区	34,000	34,547	1	98.4%	石川建設(株)	
47工区	30,100	31,040	1	97.0%	池原建設(株)	
浄化センター	375,000	381,085	1	98.4%	前田建設工業(株) 真岩土建工業(株)JV	工事希望型
発注件数全8件	533,200	547,862		97.3%		
<b>総計58件</b>	<b>1,429,040</b>	<b>1,522,306</b>		<b>93.9%</b>		

工事発注率82・5%  
平成11年度の一般工事、下水道工事の発注率はそれぞれ82・7%、82・4%となり全体で82・5%の工事を発注した。  
残工事17・5%で多いようであるが2次補正が含まれる。

**入札結果について**  
大型工事の競争が激しく落札率93・9%となっている。また、制限価格以下の応札があり3社が失格するめざらしいケースがあった。

一方下水道工事の大半が予定価格の98・99%で落札されているのが気にかかる。

**下水道工事の3次整備計画が進む**  
3次整備計画は青木、上原、上田、13区、17区、春日、藤原、古黒部地区を計画し申請することになる。

許可が出れば13年度より管工事が始まる予定である。



総合体育館の隣で建設がすすむ鐘成館



改築中の芦崎保育所

高知県を訪ねて

海洋深層水対策特別委員会研修報告

(平成11年11月24日～26日)

平成11年11月24日～26日の3日間、海洋深層水事業の先進地である高知県と室戸市へ視察研修をした。

室戸市は、近年の漁業の取り巻く環境の変化に伴い、「とる漁業から、つくり育てる漁業へ」の転換を図り、新しい時代に向けたのが、この事業である。



関係者による先進地視察

高知県が積極的

高知県の積極的な取り組みについて、視察メンバーは感銘を受けた。特に、水産分野での先進的な取り組みが、今後の日本全体の発展に大きく貢献していると感じた。

高知県の取り組みについて、視察メンバーは感銘を受けた。特に、水産分野での先進的な取り組みが、今後の日本全体の発展に大きく貢献していると感じた。



聞くこと全てが勉強

新しく日量4000トンの取水施設が完成予定である。高知県・室戸市が一体となり全体事業の推進の母体となつて、水産部門は研究所、非水産部門は民間と官民一体となつて取り組んでいる。

非水産分野では60社ほどの会社が製品化、中でも海洋深層水入りペットボトル飲料水が在庫がなく2～3カ月待ちの状態であり、一本1000円の化粧水が年間70万本の生産販売がある。さらに、酒、味噌、醤油、塩、皮膚病の薬などの製品も売り上げを伸ばしている。

水産分野で、研究に使つた後の深層水が日量900トンを海に放水しており、放水口付近ではかなりの海藻が豊かに育っているのを見て、いそ焼けの再生や養殖に期待できるのではと思つている。

また、商品開発をするだけでなく、あらゆる開発商品に民間企業と共同して特許申請し、その数はかなりである。

富山県は水産分野の研究が進んでおり、売薬で有名な県である。医学分野が進んでいて、深層水を使った薬などの開発は大変魅力があり、その開発が進むと一



現場に触れる

議会だより 入善

広報編集特別委員会

先進地にまなぶ

研修視察地

入善町議会広報特別委員会研修報告

11月29日～30日の2日間、全国町村議会広報の部で優秀賞を受賞した、滋賀県能登川町と信楽町の2町への視察研修である。

能登川町の議会だよりの特徴は、ふるさと再発見シリーズと題して地元の歴史を伝えている。歴史と言つたらなにか堅く感じるところであるが、そこは漫画調に子供の会話に置き換え、写真などもカラーであり大変見やすくなっている。また、議員が原稿を提出するこ

とから質問の全てが乗らなため、編集委員会で検討し、細部にわたつた質問をまとめて「こんな質問も」と題して掲載されていたのが目を引いた。入善町議会は過去「ありや、どうなつとるがけ？」といった連載をしていたが、能登川町は「あれ、どうなつたんぞ」を大変大事な記事と考え、また、町民から大変好評であると聞かされ、復活の思いも念頭に置き、短い時間であったがそれぞれの思いを抱いて水車の町能登川町を後にした。

翌日、滋賀県で一番寒い町、国際工芸で有名な信楽町への研修である。議会だよりの特徴は、議員全員が広報担当者といった姿勢での取り組みと、議長が最後に目を通し発行許可を得るといった厳しきである。しかしながら、まだ発行回数44回であり前日の能登川町から見ると、全体的な見直しが必要と感じた。

今回の研修で思ったことは、滋賀県全体で各市町村の広報委員会の代表と研修することが定例であり、そのことがそれぞれの市町村のレベル向上につながっている。

2日間の研修をとうして

# 各種団体からひとこと

チューリップハウス

会長 中村俊光さん  
(上野)

チューリップハウスの活動について

チューリップハウスは、平成11年6月、入善町の障害をもつ児童生徒の保護者と賛助会員によって設立されました。会員は平成11年12月末で、児童生徒16名、賛助会員6名になっています。設立以降、平成11年末

までに毎月2回のリトミック、バーベキュー、福祉作業所見学、講演会、クリスマスパーティなどの活動をしてきました。

毎月第2・4土曜日の午後は、東部児童センターでピアノ講師の酒井明美先生をお迎えして歌やリズム遊びなどを楽しみ、その後、自由遊びや情報交換を行っています。「八尾おわらの里」の見学や「くろへ工房」永井出さんの講演会では、今後の活動について多方面か

らお話を伺うことができ、有意義な活動となりました。さらに、今年1月22日の入善福祉講座では「おわらの里」の岩倉さんの講演会と滝沢卓さん等の講演会を予定しています。

障害をもつ子供の保護者は少なからず子供の将来に不安を抱え、悩み、孤立しがちになっています。現在の入善町は、障害のある子供たちにとって学校を離れた後、楽しく働ける場が十分であるとはいえません。地域の中で地域の

人たちと一緒に楽しく働くことのできる場を通じて、子供たちが明るくたくましい未来に生きて行ってほしいと思っています。

町からは昨年、結成間もないにもかかわらず補助金をいただくことができました。これから社会に出て行かねばならない子供たちのためにもっと会員を増やして活動資金を確保するとともに、みんなが集える場所を一日も早く作りたいと願っています。

# 傍聴席からひとこと



柳沢かじ子さん (二宿)

私は友達に誘われるまま、初めての議会傍聴であり、傍聴者が少ないのではないかと少し恥ずかしく思っていた。入ってみると、大変多くの方々がおられ議会に対する関心さにびっくりしました。また、各分野において大変勉強しておられる議員の皆さんが真剣に質問される姿に感動しました。

男女共同参画社会基本法が制定された今日、女性議員の活躍に期待するものであります。

身近な問題である子育て支援対策や、社会に学ぶ14才の挑戦・不登校・いじめ・学級崩壊の質問など、多岐にわたる大変興味深い質問であり、勉強になりました。

私は町政に対し、余りの無関心さに残念に思い、これからは、時間をつくり、議会の傍聴に出席していきたいと思っています。

最後に質問に対する答弁を、もっと詳しく期待したいものです。

# 編集の窓

☆21世紀の幕開けに向かう2000年の新年を、新たな思いを抱いて迎えられたことと

☆いよいよ4月から介護保険が始まる。ところが、国の方針が定まらないためにまだに保険料さえ決められない。

誰もが望んでいる介護制度とは、「必要なときに必要な介護を安心して受けることができる」、そんな当たり前のことである。

議会広報編集特別委員会

- 委員長 本多 幸男
- 副委員長 元島 正隆
- 委員 大橋美都子
- 委員 谷口 一男
- 委員 谷 昌典
- 委員 九里 郁子

昨年、遅々として進まない景気回復、ルールなきリストラ、自主流通米価格の暴落等に加え、「安全神話」がおこした東海村の臨海事故など世紀末的なこともあったが、2000年というこの節目の年が、新世紀には絶望ではなく、明るい展望が開ける架け橋の年となるよう願っている。



和気あいあいチューリップハウスのみなさん